

# 平成29年度 学校関係者評価

北海道士別翔雲高等学校

## 学校教育目標

<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 「知・徳・体」のバランスのとれた生徒を育成する。</li> <li>2. 未来を力強く切り開く逞しい力を育成する。</li> <li>3. 人を思いやり、郷土と自然を大切に、心豊かに生きていく力を育成する。</li> </ol>
--

## 重点目標

<ol style="list-style-type: none"> <li>1 基本的な生活習慣の定着と社会人として大切な徳や教養を育てる。</li> <li>2 確かな学力の定着と伸張を図り、自己実現を可能にする力を育てる。</li> <li>3 高く目標を掲げ、その実現に向けて主体的に努力する態度を育てる。</li> <li>4 奉仕活動や部活動などの課外活動に意欲的に参加し豊かな心を育てる。</li> </ol>
--

## 経営方針

<p>家庭や地域から信頼される学校づくりを目指し、生徒一人一人の限りない可能性を開花させる質の高い教育活動を実践する。</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 教育の質を保証する教育課程の編成・実施を通して、生徒の自己実現を図る。</li> <li>(2) 積極的な情報収集を通して、生徒や保護者、地域社会の多様な教育的ニーズに応える。</li> <li>(3) 個に応じたきめ細かな指導を通して、いじめ・不登校の未然防止の徹底を図る。</li> <li>(4) 中学校や上級学校、地域社会と連携し、生徒と社会の円滑な接続を図る。</li> <li>(5) 教育公務員として服務規律を厳正に保持し、地域社会からの揺るぎない信頼を得る。</li> </ol>
---	---

自己評価結果(4:ほぼ達成 3:半分達成 2:一部達成 1:全く達成していない)				自己評価結果		学校関係者評価	
	今年度の目標	目標達成のための評価の観点 (取組と成果についてそれぞれ評価)	自己評価結果	取組の適切さ	自己評価の適切さ	改善に向けた取組の適切さ	
学習指導	○主体的・対話的な学びの質の向上	①基礎・基本の徹底シラバスの活用と授業改善指導と評価の一体化	①シラバスの活用と改善は行われ、分かる授業が実践されたか。成績の平均評定は上昇したか	3.2	3.0	3.4	3.6
	○基礎学力の向上	②個別指導の充実習熟度別学習や授業評価	②生徒の実態把握と個別の学習指導に反映されたか。	3.3	3.1	3.4	3.8
	○個に応じた思考力・判断力・表現力の育成	③主体的学習習慣の確立学力等実態調査等を活用した発展的な学習と家庭学習の確立	③生徒全員の家庭学習時間は増加したか。	2.7	2.5	3.2	3.2
		④学校教育目標及びめざす学校像を具現化した次期教育課程の編成	④最新の情報を元に教育課程委員会で検討を行い、その進捗状況を学校全体に発信し、共通理解を得ながら編成作業は進んでいるか。	2.9	2.9	3.2	3.6
生徒指導	○基本的生活習慣の確立	①挨拶・身だしなみ・礼儀作法等の習慣化全学年共通した指導の継続	①生徒指導があらゆる場面で機会を逃さず適切に行われたか	3.3	3.1	3.4	3.8
	○お互いを思いやり命を大切に教育の推進	②いじめの未然防止基本方針に基づく生徒観察と適切な対応	②自他を尊重する心を醸成し、いじめやネットトラブル等の防止についての方策が行われたか	3.3	3.1	3.6	3.4
	○自立のための資質能力の育成	③個別の支援体制の整備と生徒の個性を活かす指導	③生徒の活動を積極的に支援できたか	3.4	3.2	3.4	3.6
		④主体性のある生徒の育成	④困難なことに積極的に挑戦する意識を育成できたか	3.3	3.0	3.2	3.4
		⑤個性を高めあう集団の育成	⑤HR活動や学校行事に生徒全員が積極的に参加していたか	3.3	3.2	3.6	3.6
○社会貢献意識の育成	⑥地域社会との積極的な交流	⑥地域社会へ積極的に貢献しようとする意識が高まったか	3.1	2.9	3.6	3.4	
進路指導	○進路決定力の育成	①3年生全員の進路先決定	①3年生の進路希望は実現させたか	3.1	3.1	3.4	3.6
	○望ましい勤労観・職業観の育成	②進路希望を実現する生徒の実力養成プログラムの確立	②進路実現に向けた実力養成は生徒の実態に応じて効果的に行われたか	3.3	3.2	3.6	3.8
		③学科の特色を活かした3年間を見通した全教育活動で取組むキャリア教育の推進	③特別活動や各教科の授業においてキャリア教育を意識した取組は行われたか	3.3	3.2	3.4	3.8
	○社会で生きる実践力の育成	④主権者教育の推進	④学年に応じた選挙に関する知識や教養は身につけさせたか。	2.8	2.6	3.0	3.2

健康安全 指導	○個々の生徒の特性を伸ばす教育活動の支援体制の強化	①教育活動支援を要する生徒の早期発見と支援体制の確立	①生徒の状況についての情報共有は行われたか	3.3	3.3	3.6	3.4
			②支援体制についての内規は整備されたか	2.8	2.9	3.2	3.0
	○安全意識の向上	③学校安全計画の充実	③保健衛生についての情報は提供されたか	3.2	3.2	3.6	3.6
			④防犯、防災訓練は効果的に行われたか	3.4	3.3	3.8	3.8
	⑤健康安全についての意識は高まったか	3.2	3.3	3.6	3.6		
信頼される学校 づくり	○地域が望む教育活動の把握	①学校経営方針等の保護者・地域への十分な説明	①学校の状況は保護者・地域へ伝わっているか	3.3	3.0	3.8	3.8
			②学習面・生活面で中学校の連携は強化したか	2.5	2.5	3.4	3.4
		②外部アンケートの改善充実	3.4	3.3	3.8	3.4	
	○学校評価の活用	③学校評価を生かしたPDCAサイクルの確実な実施	④反省会議及び次年度計画会議は学校評価を基に行われているか。	3.4	3.3	3.6	3.8
	○危機管理の充実	④危機管理マニュアルの改善	⑤教職員の実践的危機管理意識は高揚したか	3.4	3.3	3.6	3.6
組織運営	○めざす学校像・生徒像の共有	①目指す学校像・生徒像に基づく経営参画意識の高揚	①分掌・学年等でめざす学校像・生徒像に基づく判断ができたか	3.1	3.0	3.4	3.4
	○分掌業務等の系統化・効率化と連携	②情報の共有化に基づく協働体制の推進	②学校課題や生徒情報について積極的に情報共有が行われたか	3.3	3.2	3.6	3.8
教職員の 資質向上	○教育公務員としてのプロ意識の高揚	①服務規律の徹底	①服務規律は守られたか	3.8	3.9	3.8	3.8
			②課題即応意識の確立	②学校課題解決に向けて迅速な行動をとったか	3.1	3.2	3.8
	○授業力の向上	③校外外における授業研究	③授業研究等とおして授業力は向上したか	3.1	3.0	3.4	3.4
			④生徒に確かな学力を身につけさせたか	3.1	3.0	3.6	3.4
			⑤研修の成果は生徒の指導に還元されたか	3.0	2.9	3.2	3.2
○学校課題及び各個人の課題に応じた研修の充実	④各教員のキャリアに応じた校内外の研修						